

キャリアNews No.8

個人の生き方・働き方が多様化する中で、組合員のなかには自身のキャリアで悩んでいる方もいます。もし相談があった時、私たち労働組合の執行委員はどのように対応したらいいのでしょうか。
この「キャリアNews」では相談事例をもとにどのように支援すればいいのか、経験豊富なキャリアカウンセラーがアドバイスします。



相談事例 Hさん 入社30年目 男性 技術職(50歳)

私はメーカーに約30年勤務し、会社勤務の前半は半導体設計のエンジニア、その後は技術管理部門で品質保証と環境マネジメントの業務をしてきました。

最近会社の業績が芳しくないで今後のことを考えて転職活動を始めましたが、書類選考が通りません。

私は今後どうしたら良いでしょうか。

長年技術者として勤務してきたHさんは、会社の業績不振により他社への転職を考え始めたようですが、書類選考が通らず悩んでいるようです。



キャリアカウンセラーとしての対応



問いかける

そこで、Hさんに今回転職を考えることになったきっかけや仕事に対する思いを尋ねると、Hさんは相談しようと思った理由と転職についての思いを語ってくれました。

Hさんの思い



- 今まで、定年(60歳)まではこの会社にずっと勤務するつもりで働いてきた。
- しかしながら最近会社から構造改革や早期退職制度の説明を受けて、自分の将来が不安になり転職活動を始めてみたが、書類選考が通らず面接までたどり着かない。
- 年齢が50歳の私は条件的に厳しいと思うが、希望としては「今後つぶれない安定した会社」で今と同じような技術系の仕事をやりたい。
- 家族は子供が2人いるが、あと3年で2人とも大学を卒業する予定になっている。



傾聴する

会社の構造改革(リストラ)に関しての説明を聞いて、自分の将来について不安を感じたHさんは、今の置かれている環境や将来の自分のありたい姿(生き方、働き方)を整理しないまま転職活動を開始したものの、自分が思ったように事が運ばず悩んでいるようです。

情報を伝える、問いかける

その話を伺ったキャリアカウンセラーは、定年まで働き続けたいという本人の希望に共感しつつ、現在の転職市場の情報(中年・シニアの転職事情等)を伝えた後に、Hさんの話を聞いて気になったいくつかの点を尋ねました。

- Hさんが思う「今後つぶれない安定した会社」はどこにあると思いますか？
- 転職するにあたって一番大切にしたいことは何ですか？
- 今、仕事上で問題となっていることは何かありますか？
- これからの人生をどうありたいですか？(例えば当面の3年間、定年60歳まで、それ以降..)

気づきを与え、語らせる

Hさんのお話

- 改めて考えてみたら今の会社は福利厚生に恵まれており、すぐにつぶれるほど悪い状況ではないと思う。今の仕事に特に不満はない。
- 話をしてみて(子供が大学を卒業するまでの)あと3年間は今の職場で働き続けた方が良くかもしれないと思い始めた。
- 今の仕事はリストラの対象ではないので、転職に関してはもう少し時間をかけて考えたい。

キャリアカウンセラーとしての対応



一緒に考える

その話を受けて、キャリアカウンセラーは現状を冷静に整理した上で、一緒に相談しながら今後のありたい姿を描く事をHさんに勧めました。

また、

- 今、年齢が50歳。間もなく子育ても一段落するという「人生の節目の時期」で、今後の自分の人生(ライフ・キャリア)を考える良いタイミング。
- そこで自分の今までの歩みを振り返り(棚卸)、自分の興味・関心、やりたいこと(will)や、出来る事・強み(can)、期待されていること(must)を整理しながら、【自己理解】会社、家庭、社会との関わりの3つのバランスを意識して、「今後のありたい姿(キャリア・ビジョン)」を考えることが大切。などの話をしました。

その結果、面談の最後にHさんから下記のような話がありました。

Hさんからのお話



今まで自分の経験を振り返ったり、これからやりたいことを真面目に考える機会がなかったので、今までは意識してこなかった英語力(TOEIC 900点)の活かし方を含めて棚卸をしてみます。

人生100年時代。これを機に定年以降も含めた自分の生活のあり方を考えてみたいと思います。



キャリアカウンセラーの役割

キャリアカウンセラーは、相談者が自分のキャリア(働き方、生き方)を考えるお手伝い役です。

自分の今後のキャリアアップについて悩んでいたHさんは、キャリアカウンセラーとの対話を通して、「将来の目標(ありたい姿)」を考えることの大切さに気がきました。

問いかけ

相談のきっかけや悩みの内容を尋ねながら

傾聴

本人の話(希望・大切にしたいこと...)をよく聴き

気づきを与える

ときには第三者の視点にたった情報提供等をしながら、本人にとって望ましい今後のキャリアについて一緒に考え、相談者のキャリア・プランづくりを支援する

～あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます～

働く私たち自身が自らの手で自分らしい生涯を作り出していくために、「電機連合キャリアデザインセンター」では経験豊富なキャリアカウンセラーが電話相談に応じ、あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます。プライバシーもしっかり保護されますので、安心してご相談下さい。

～キャリアについて、あなたの?を気軽にお話し下さい～



三田勝彦 先生

情報通信システムメーカーに35年勤務しシステム営業や販売促進業務に従事。

キャリアコンサルタント資格取得後は東京商工会議所にて、従業員のキャリア形成を支援する「セルフ・キャリアドック制度」の普及を担当し、1000名以上の経営者や従業員向けのセミナー講師やキャリアカウンセリングの経験を持つ。

現在はカウンセリングを通じた働く人の就職・転職・キャリア支援と、企業内キャリア開発セミナー講師として活動中。

対象

組合員本人とその家族
(配偶者・子ども)

時間

最長50分

原則

毎週水曜日(祝日、年末年始を除く)
17:00~20:00

見つけよう つよみ

0120-324-243 (通話料・相談料無料・携帯からも可)

電機連合キャリアデザインセンター

検索